

## 寄贈図書リスト

天文学者が解説する宮沢賢治『銀河鉄道の夜』と宇宙の旅、谷口義明、新書判、336ページ、1,100円+税、光文社

## 月報だより

月報だよりの原稿は毎月20日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載いたします。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申込みください。

e-mailで [toukou@geppou.asj.or.jp](mailto:toukou@geppou.asj.or.jp)宛にお送りください。折り返し、受領の連絡をいたします。

## 人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目に従ってご投稿ください。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員（ポスト・人数など）、2. (1) 所属部門・所属講座、(2) 勤務地、3. 専門分野、4. 職務内容・担当科目、5. (1) 着任時期、(2) 任期、6. 応募資格、7. 提出書類、8. 応募締切・受付期間、9. (1) 提出先、(2) 問合せ先、10. 応募上の注意、11. その他（待遇など）

## 核融合科学研究所教授

1. 教授1名
2. (1) 高密度プラズマ物理研究系不純物輸送研究部門  
(2) 岐阜県土岐市下石町322-6
3. 4. 核融合炉を目指した研究では、高性能プラズマを安定に維持する制御法を確立することが最重要課題の一つである。  
今回公募する教授は、LHDにおける不純物挙動の包括的な理解を通じたプラズマの高性能化研究に貢献するとともに、定常プラズマ制御研究等、ヘリカル、トカマクに共通する課題にも積極的に取り組み、当該分野のフロンティアを開拓することが期待される。更に、大学院生・若手研究者の育成にも積極的に取り組むことが望まれる。
5. (1) 採用決定後のなるべく早い時期  
(2) 任期5年、再任可
6. 博士の学位を有すること 等
7. ((2)~(5)については6部必要)  
(1) 履歴書：原則として市販の用紙を使用し、可能な就任時期も明記すること。（写真貼付、

取得学位名を明記の上、連絡先にE-mailアドレスを記入すること。）

- (2) 研究歴：任意の様式による。2,000字程度。
- (3) 就任後の抱負：任意の様式による。2,000字程度。
- (4) 研究業績発表論文リスト：和文と英文は別葉とすること。共著の論文については、共著者名をすべて記入し、それぞれの論文について、レフリーによる審査（査読）を経たものであるか、否かの区別を明確にすること。なお、リスト作成にあたっては、当研究所の「研究業績リスト作成基準」（当研究所ホームページURL: <https://www.nifs.ac.jp/jinji/>に掲載）によること。
- (5) 論文別刷：主要な論文5編程度の別刷を添付すること。（別刷がない場合はコピーでも可）なお、添付した論文の概要と本人の貢献を別途記載した文書を添付すること（任意の形式による）。
- (6) 推薦書：推薦者がいる場合は推薦書、応募者について参考意見を述べることのできる方がいる場合はその方の氏名及び連絡先（2名以内）を記載した文書。いずれも任意の様式による。
8. 令和2年10月5日（月）17時（必着）
9. (1) 〒509-5292 土岐市下石町322-6  
核融合科学研究所管理部総務企画課人事係  
(2) ①提出書類について  
核融合科学研究所管理部総務企画課人事係  
電話0572-58-2013（直通）  
②研究内容等について  
核融合科学研究所ヘリカル研究部高密度プラズマ物理研究系

研究主幹 教授 森崎友宏  
電話 0572-58-2200 (直通)

10. 封筒の表に「高密度プラズマ物理研究系不純物輸送研究部門(教授) 公募関係書類」と朱書し、郵送の場合は簡易書留とすること。
11. 詳細は以下を参照ください。  
URL: <https://www.nifs.ac.jp/jinji/>

## 核融合科学研究所助教

1. 助教2名
2. (1) 高密度プラズマ物理研究系輻射物理研究部門及び高温プラズマ物理研究系エネルギー輸送研究部門 各1名  
(2) 岐阜県土岐市下石町322-6

3. 4. 核融合科学研究所は、ヘリカル研究部の7研究系と1センターで、核融合発電を目指した環状プラズマの総合的理解のために、大型ヘリカル装置(LHD)プロジェクトを推進している。高密度プラズマ物理研究系は、プラズマの生成・維持に必要な粒子供給法、プラズマの安定制御法、粒子排気法、プラズマ対向壁の熱除去法の確立を目指した研究を推進している。加えて、これらの課題解決に必要な機器や計測器の開発も精力的に行っている。高温プラズマ物理研究系は、高精度計測機器の開発と、それをを用いた重水素放電における同位体効果の物理機構の解明や、さらなる閉じ込め改善法の確立等に繋がる研究を推進している。

今回公募する助教2名は、いずれも計測器の開発を行い、それをを用いてLHD重水素実験における研究に従事する。輻射物理研究部門はミリ波・マイクロ波を用いた計測を、エネルギー輸送研究部門は中性子計測を主要な手段とするが、熱意を持って取り組む意思があれば特にこれらの研究経験の有無は問わない。一方で、国内外の共同研究の推進や、大学院生・若手研究者の育成に対しては積極的に取り組むことを求める。

5. (1) 採用決定後のなるべく早い時期  
(2) 任期5年, 再任可
6. 博士の学位を有する者又は取得見込みの者
7. ((2)~(5)については8部必要)  
(1) 履歴書: 原則として市販の用紙を使用し、可能な就任時期も明記すること。(写真貼付, 取得学位名を明記の上, 連絡先にE-mailアドレスを記入すること.)  
(2) 研究歴: 任意の様式による。2,000字程度。

(3) 就任後の抱負: 任意の様式による。2,000字程度。この中に、希望する研究部門名(「輻射物理」または「エネルギー輸送」)を記入すること。特に限定しない(どちらの研究部門でもよい)場合やそれぞれの研究部門に第一・第二の希望順位がある場合はその旨記載すること。

(4) 研究業績リスト: 共著の論文については、共著者名をすべて記入し、それぞれの論文について、レフリーによる審査(査読)を経たものであるか、否かの区別を明確にすること。また、リストとは別に、主要な論文3編程度についてはその概要と本人の寄与についてまとめること(任意の形式による)。なお、リスト作成にあたっては、当研究所の「研究業績リスト作成基準」(当研究所ホームページURL: <https://www.nifs.ac.jp/jinji/>)に掲載)によること。

(5) 論文別刷: 主要な論文3編以内の別刷を添付すること。(別刷がない場合はコピーでも可)  
(6) 推薦書: 推薦者がある場合は推薦書、又は応募者について参考意見を述べることでできる方2名以内の氏名及び連絡先を記載した文書。いずれも任意の様式による。

8. 令和2年9月25日(金)17時(必着)
9. (1) 〒509-5292 土岐市下石町322-6  
核融合科学研究所管理部総務企画課人事係  
(2) ①提出書類について  
核融合科学研究所管理部総務企画課人事係  
電話0572-58-2013(直通)  
②研究内容等について  
核融合科学研究所ヘリカル研究部高密度プラズマ物理研究系  
研究主幹 教授 森崎友宏  
電話 0572-58-2200(直通)  
核融合科学研究所ヘリカル研究部高温プラズマ物理研究系  
研究主幹 教授 榎原 悟  
電話 0572-58-2220(直通)
10. 封筒の表に「助教公募関係書類」と朱書し、郵送の場合は簡易書留とすること。
11. 詳細は以下を参照ください。  
URL: <https://www.nifs.ac.jp/jinji/>

## 核融合科学研究所教授

1. 教授1名
2. (1) 基礎物理シミュレーション研究系プラズマ

粒子シミュレーション研究部門

(2) 岐阜県土岐市下石町322-6

- 3.4. 核融合科学研究所では、数値実験炉研究プロジェクトを推進し、核融合磁場閉じ込め装置全体のプラズマ挙動の予測に繋がる大規模シミュレーション科学研究を展開している。中でも、基礎物理シミュレーション研究系では、プラズマ・核融合における非平衡開放系物理の先端的シミュレーション研究、及びその基盤研究としての新しいシミュレーション手法、スーパーコンピュータ利用技術、実3次元可視化技術の高度化を通じ、数値実験炉研究プロジェクトに貢献するとともに、異分野連携研究・産学連携研究を実施している。

今回公募する教授には、これらの研究を積極的に推進するとともに、プラズマ及びその関連分野においてシミュレーション研究の新たな領域開拓を先導することのできる能力と知見を求める。公募する部門は「プラズマ粒子シミュレーション研究部門」であるが、専門は必ずしも粒子シミュレーションにとらわれず、幅広く優秀な人材を求める。

5. (1) 令和3年4月1日以降のできるだけ早い時期
- (2) 任期5年, 再任可
6. 博士の学位を有すること 等
7. ((2)~(5)については6部必要)
  - (1) 履歴書: 原則市販の用紙を使用し、可能な就任時期も明記すること。(写真貼付, 取得学位名を明記の上, 連絡先にE-mailアドレスを記入すること.)
  - (2) 研究歴: 任意の様式による。2,000字程度。
  - (3) 就任後の抱負: 任意の様式による。2,000字程度。
  - (4) 研究業績発表論文リスト: 共著の論文については、共著者名をすべて記入し、それぞれの論文について、レフリーによる審査(査読)を経たものであるか、否かの区別を明確にすること。  
なお、リスト作成にあたっては、当研究所の「研究業績リスト作成基準」(当研究所ホームページURL: <https://www.nifs.ac.jp/jinji/> に掲載)によること。
  - (5) 論文別刷: 主要な論文5編以内の別刷を添付すること。(別刷がない場合はコピーでも可)
  - (6) 推薦書: 2通。任意の様式による。
8. 令和2年11月9日(月)17時(必着)
9. (1) 〒509-5292 土岐市下石町322-6  
核融合科学研究所管理部総務企画課人事係

- (2) ①提出書類について

核融合科学研究所管理部総務企画課人事係  
電話0572-58-2013(直通)

- ②研究内容等について

核融合科学研究所ヘリカル研究部基礎物理シミュレーション研究系  
研究主幹 教授 石黒静児  
電話 0572-58-2540(直通)

10. 封筒の表に「基礎物理シミュレーション研究系プラズマ粒子シミュレーション研究部門(教授)公募関係書類」と朱書き、郵送の場合は簡易書留とすること。
11. 詳細は以下を参照ください。  
URL: <https://www.nifs.ac.jp/jinji/>

### 賞の推薦

## 公益財団法人天文学振興財団 令和2年度天文学業績表彰応募

当財団は、社会における天文学の振興に寄与するため、天文学に関連する分野での顕著な業績に対して表彰をいたします。

令和2年7月1日

公益財団法人天文学振興財団 理事長 観山正見

### 1. 応募種目

#### [1] 古在由秀賞

- (1) 選考基準 以下のいずれかに該当する者
  - ・広い意味で理論天文研究において顕著な業績をあげた研究者
  - ・天文学の広報普及に貢献した者(アマチュアも含む)
  - ・広い意味で重力波天文学の貢献に顕著な業績をあげた研究者
  - ・国際的に天文学の推進(特にアジアの天文学)に貢献した者
  - ・天文学の推進に関して管理運営等において優れた業績をあげた者

#### (2) 対象

- ・当該年度当初において45歳以下であること(個人または研究グループの代表者)。また、応募は推薦に依るものといたしますが、他薦・自薦の別は問いません。

#### [2] 吉田庄一郎記念・ニコン天文学業績賞

- (1) 選考基準 以下のいずれかに該当する者

- ・新たな天体観測手法の研究・開発で顕著な業績をあげた者
- ・天体観測技術の研究または開発分野で顕著な業績を挙げた者
- ・新たな天体観測手法・装置の研究・開発を通じて産業界の発展に顕著な寄与をなした者

## (2) 対象

- ・当該年度当初において50歳以下であること（個人またはグループの代表者）。また、応募は推薦に依るものといたしますが、他薦・自薦の別は問いません。

2. 応募期限：両賞とも令和2年10月末日
3. 選考結果：両賞とも選考委員会で審査の上、結果ついて令和3年1月下旬に文書で通知します。
4. 申請方法：天文学振興財団ホームページ上にWordファイルとPDFファイルを掲載します。応募書類は、一つのPDFファイルにまとめて電子メールに添付し、応募期限までに以下のメールアドレス宛にお送りください。

shinsei@fpastron.jp

天文学振興財団より受理確認メールを返信いたします。

5. 問合せ先：公益財団法人天文学振興財団 事務局  
〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1  
国立天文台内  
Tel: 0422-34-8801  
Fax: 0422-34-4053  
http://www.fpastron.jp/

## 2020年度宇宙科学奨励賞公募のご案内

公益財団法人宇宙科学振興会では、宇宙科学分野で優れた研究業績を挙げ、将来の宇宙科学の発展に大きな役割を果たすことが期待される若い研究者を顕彰し、宇宙科学奨励賞を授与いたします。ここに2020年度の第13回宇宙科学奨励賞候補者のご推薦を募集いたします。推薦要綱の詳細は当財団のホームページ(<http://www.spss.or.jp>)に掲載しておりますが、当奨励賞の概要は以下の通りです。皆様の周りで優れた業績を挙げ将来の活躍が期待される若手研究者をご存知の際には、是非ともご推挙いただきますようお願い申し上げます。

表彰の趣旨：宇宙物理学（飛行体を用いた観測、探査、実験に関連する理学研究）分野及び宇宙工学分野で独創的な研究を行い、宇宙科学の進展に寄与する優れた研究業績をあげた若手研究者個人を顕彰する。

授与機関：公益財団法人 宇宙科学振興会

候補者：上記分野で優れた業績をあげた当該年度の4月1日現在37歳以下の若手研究者個人。候補者の推薦は他薦に限る。

業績の審査：業績の審査は、推薦理由となる研究業績に関連して発表された論文に基づいて、当財団が設置する選考委員会において行う。

賞の内容：授賞は原則として毎年宇宙物理学関係1名、宇宙工学関係1名とする（ただし適格者のいない場合は受賞者なしとする場合がある）。受賞者には本賞（賞状と表彰楯）および副賞（賞金30万円）が贈られる。

推薦締切日：2020年10月31日（土）必着。

表彰式：選考結果は2021年1月に推薦者と受賞者に通知するとともに、当財団ホームページにおいて発表する。その後2021年3月初旬に表彰式を行い、受賞者には受賞対象となった研究に関する講演をして頂く。

なお、推薦の手続きの詳細については財団のホームページ(<http://www.spss.or.jp>)をご覧ください。推薦書式をダウンロードして必要事項を記載の上、(1)候補者の略歴、(2)論文リスト、および(3)推薦の対象となる論文の別刷等必要書類を添付の上、電子メールにてご提出下さい。

お問い合わせ先および推薦書送付先：

〒252-5210 相模原市中央区由野台3-1-1  
公益財団法人宇宙科学振興会 事務局  
E-mail: admin@spss.or.jp

## 2020年度日本天文学会林忠四郎賞受賞候補者および欧文研究報告論文賞受賞候補論文推薦のお願い

林忠四郎賞選考委員会

標記の二つの賞について、受賞候補者と論文の推薦をお願いします。締切は両賞とも2020年11月6日（金）（必着）です。以下に述べるそれぞれの要領に従って記入した推薦書を、〒181-8588東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 日本天文学会宛に郵送してください（論文賞についてはe-mailも可）。なお、封筒には「林忠四郎賞候補者推薦書」または「欧文研究報告論文賞候補推薦書」と表記してください。特に返送等のお申し出がない限り、推薦書類は選考後に破棄します。授賞式は、両賞とも本会春季年会開催時の会員全体集会にて行う予定です。

林忠四郎賞の推薦は2年間有効です。欧文研究報告論文賞の推薦は毎年リセットされます。「原則として1年に2件以内」と内規に定めがありますので、優れた論文であっても受賞に至らない場合があります。その場合、優れた論文は複数回推薦していただくことを奨励します。

## 2020年度(第25回)林忠四郎賞推薦要領

この賞は、林忠四郎博士が1995年11月に第11回京都市賞を授与されたのを記念し、「後進の天文学研究を奨励するため」として同博士より日本天文学会にいただいた寄付を基金にして設定されたものです。

対象：広い意味での天文学(天体物理学、宇宙物理学、他の関連テーマも含む)における独創的かつ分野に寄与するところの大きい研究業績に対して授与する。

受賞資格：本年度当初においてすでに本会正会員である者(個人または少人数の研究グループ)。

授賞件数：原則として1件。

賞状等：本賞として賞状、副賞として賞牌(メダル)および賞金(30万円)を授与する。

推薦書の形式：表題は「2020年度林忠四郎賞候補者推薦書」としてください。A4サイズの用紙に、次の順序で横書きにしてください。

- 1) 候補者(被推薦者、連名授賞可)について：氏名(ふりがな)、生年月日、大学卒業年、現職および連絡先(電話、FAX、e-mail)
- 2) 授賞対象とする研究の表題(英語表記も併記)
- 3) 推薦者について：氏名(ふりがな)、現職、連絡先(電話、FAX、e-mail)、被推薦者との関係
- 4) 推薦理由の要旨(300字以内)
- 5) 推薦理由
- 6) 関連する論文のリスト
- 7) 添付資料として、推薦に関連して最も重要な論文のコピー(3編以内)

## 2020年度(第25回)欧文研究報告論文賞推薦要領

この賞は、良い論文がPublications of the Astronomical Society of Japan (PASJ)に投稿・出版されることを奨励するために設定したものです。なお本賞の選考委員会は、林忠四郎賞選考委員会が兼ねています。

対象論文：原則として2015年12月から本賞締め切りまでに発行されたPASJに掲載された論文の中で、独創的で天文学分野に寄与の大きい、特に優れた

論文の著者(共著の場合はすべての共著者)に授与する。

授賞件数等：原則として2件以内。賞状と副賞を授与する。

推薦書の形式：表題は「2020年度欧文研究報告論文賞候補推薦書」としてください。A4サイズの用紙(e-mailでも可)に、次の順序で横書きにしてください。

- 1) 候補論文について：論文題目、筆頭著者名、出版された巻、ページ、発行年
- 2) 推薦理由(1,000字程度)
- 3) 推薦者について：氏名(ふりがな)、現職・連絡先(電話、FAX、e-mail)、被推薦者との関係
- 4) e-mailで推薦する場合はjim@asj.or.jp宛に送信して、受領メールを必ず確認してください。

## 2020年度(第32回)研究奨励賞

### 候補者推薦のお願い

研究奨励賞選考委員会

本会は、優れた研究成果を上げている若手天文学者に対して、日本天文学会研究奨励賞を授与しています。

受賞資格は

- 1) 日本天文学会正会員で、最近おおそ5年間における天文学への寄与が顕著なる者
- 2) 当該年度初日(2020年4月1日)にすでに正会員であってかつ35歳以下の者

です。毎年3名以内を対象とし、賞状、賞牌(メダル)および賞金(10万円)を併せて授与しています。

皆様からの多数の候補者の推薦をお待ちしております。選考委員会では推薦された方の中から、研究奨励賞内規に基づき選考を行い、候補者を代議員総会に推薦します。

受賞候補者の推薦要領は

- (1) 締切：2020年11月5日(木)必着
- (2) 提出書類：○候補者氏名、会員番号、現職、生年月日、○授賞対象とする研究の表題(英語表記も)、○推薦者の氏名、現職、連絡先、○推薦理由(300文字程度の要旨とA4で2~3枚程度の本文)、○関連論文リスト、○推薦に関連して最も重要な論文のコピー(3編以内)
- (3) 提出先：できるだけ、e-mailで応募して下さい。e-mailの場合はjim@asj.or.jp宛にsubject「2020研究奨励賞応募 氏名」としてお送り下さい。また、提出書類は一つのPDFにまとめ、ファイル名

を「2020kenkyushorei full name」として下さい。  
 郵送で提出する場合は  
 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1  
 国立天文台内  
 日本天文学会研究奨励賞選考委員会  
 へ送付して下さい。

## 2020年度(第20回)天文功労賞 候補者推薦のお願い

天体発見賞選考委員会

この賞は、近年多岐にわたっている研究機関外での天文活動、例えば長年の天体観測や、突発的な現象の検出や的確な通報などを、称賛し奨励するためのものです。賞の対象となる功績は、天体発見賞・発見功労賞の枠外となっている天文観測・研究活動全般です。

対象者は、日本在住者、日本国籍を有する個人、または日本に本拠地を置く団体であって、天文学研究を主たる業務としない者としめます。日本天文学会の会員であるかどうかは問いません。選考は、天体発見賞選考委員会が行い、候補者を代議員総会に推薦します。天文学会の会員の方々からの候補者(団体)推薦を、広く募集します。A4紙1枚程度で、候補者(団体)名、功績名(1行程度)、功績の説明を書いたとき、日本天文学会事務所(〒181-8588東京都三鷹市大沢2-21-1国立天文台内 Fax: 0422-31-5487・e-mail: jim@asj.or.jp)にお送りください。郵便・Fax・電子メールのいずれでも結構です。推薦は随時受け付けておりますが、今回の選考に確実に乗せるには、2020年12月18日(金)までにお送りいただくようお願いいたします。なにとぞ多数のご推薦をよろしくお願いいたします。

## 2020年度(第3回)天文教育普及賞 候補者推薦のお願い

天文教育普及賞選考委員会

日本天文学会天文教育普及賞は、天文教育や普及活動の分野で特に顕著な貢献をされた個人や団体を顕彰し奨励して、教育普及活動のさらなる発展を期するものです。対象者は、日本国内・国外またはその両方で活動を行った日本在住者や日本国籍を有する個人、または日本に本拠地を置く団体、及び、日本国内で行われた教育普及活動を実施した外国の個人または団体です。教育普及活動が本務の場合も、本来の業務を大

く超え、社会に強い影響を与え、多大な貢献をした場合は対象となります。また、日本天文学会の会員であるかどうかは問いません。選考は天文教育普及賞選考委員会が行い、候補者を代議員総会に推薦します。

つきましては、日本天文学会の正会員・準会員の皆様から、候補者(団体)の推薦を広く募集します。A4紙1枚程度で、候補者(団体)名、活動名(1行程度)、活動内容の説明を記載し、必要に応じて補足資料(A4紙5枚程度まで)を添付のうえ、日本天文学会事務所(〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内/Fax:0422-31-5487/jim@asj.or.jp)にお送りください。フォーマットの指定は特にありません。郵便・Fax・電子メールのいずれでも結構です。

なお、連名で推薦される場合は全員が会員である必要はありません。推薦は随時受け付けておりますが、第3回の選考に確実に間に合わせるには、2020年9月30日(水)までにお送りいただくようお願いいたします。なお過去に推薦いただいた候補者に関しては再推薦の必要はありません。

なにとぞ多数のご推薦をよろしくお願いいたします。

## 2020年度(第3回)日本天文遺産候補 推薦のお願い

日本天文遺産選考委員会

日本天文学会では、歴史的に貴重な天文学・暦学関連の遺産を大切に保存し、文化的遺産として次世代に伝え、その普及と活用を図ることをひとつの使命と考え、日本における天文学(以下、暦学も含む)的な視点で歴史的意義のある史跡・事物に対して日本天文遺産の認定を行っています。対象は原則として次のようなものになります。

- (1) 史跡・建造物: 天文学上、重要であった地点や建築・構造物、観測施設など。
- (2) 物品: 天文学上の重要な発見に関与する物品や天文学における歴史的意義が高い物品。観測機器や天文学研究に用いられた測定装置など。
- (3) 文献: 歴史的意義のある天文学関連の文書類など。

認定された日本天文遺産の管理者等には、認定証および認定されたことを示すパネルまたは楯を贈呈します。これにより対象物の歴史的価値を広く世の中にアピールし、その保全への支援となることを期待しています。皆様からの推薦を参考に天文遺産選考委員会が候補を絞り、日本天文学会代議員総会にて決定します。

日本天文学会の会員（正会員及び準会員）の方々からの候補の推薦を、広く募集します。推薦書は本誌巻末のものをご利用下さい。以下の日本天文学会のサイトからもダウンロードすることができます。

[http://www.asj.or.jp/asj/prize/boshu\\_isan.html](http://www.asj.or.jp/asj/prize/boshu_isan.html)

必要事項を記入の上、日本天文学会事務所（〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内/Fax: 0422-31-5487/jimu@asj.or.jp）にお送りください。送付方法は郵便、Fax、電子メール添付のいずれでも結構です。現在の管理者・所有者に推薦した旨を連絡しておいていただくと助かります。

2020年度の認定対象の発表と認定証授与式は、2021年3月の日本天文学会春季年会会場にて行う予定です。推薦は、2020年9月30日までに学会事務所

へ到着したものを有効とします。候補に対しては必要に応じて現地調査を行います。なお「歴史的」とは長い年月を経ているという意味ではなく、長く後世に伝えていくべき価値を有するものと考えていただければと思います。なにとぞ多数のご推薦をよろしく願いたします。

なお、推薦された史跡・事物については、2020年度に日本天文遺産として認定されなかった場合でも、選考委員会において日本天文遺産候補リストに登録し、翌年以降の選考対象とします。このため、同一の史跡・事物を、翌年以降に重ねて推薦する必要はありません。ただし、推薦書記載の内容に変更がある場合は、再度の提出をお願いいたします。

#### 天文月報編集委員より

天文月報オンラインでは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため思うように外出もできないこの時期に、多くの天文に興味を持つ方にお読みいただけますよう、発行後一年間は会員限定で公開している一部の記事を、すべて公開しております。普段はすぐに読めないシリーズや雑報などもお読みいただけます。少しでも多くの皆様にお楽しみいただけますよう、周りの皆様にお知らせいただければ幸いです。

天文月報オンライン/投稿用アップローダーのIDとパスワード

ID: asj 2005

パスワード: 雑誌コード（5桁の数字と）**vol113**（6文字）の計11文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○-▲」の○○○○○の部分です。○○○○○は各号共通の数字です。

松田有一（委員長）、市川幸平、岩井一正、江草芙実、岡部信広、押野翔一、小高裕和、嘉数次人、小宮山裕、滝脇知也、富田賢吾、中村航、西塚直人、秦和弘、福井暁彦、前原裕之

令和2年8月20日

発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内

公益社団法人 日本天文学会

印刷発行 印刷所 〒162-0801 新宿区山吹町332-6

株式会社 国際文献社

定価733円（本体667円）発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内

公益社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359（事務所）/ 0422-31-5488（月報） Fax: 0422-31-5487 振替口座00160-1-13595

日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: [toukou@geppou.asj.or.jp](mailto:toukou@geppou.asj.or.jp)

会費には天文月報購読料が含まれます。

©公益社団法人日本天文学会2020年（本誌掲載記事は無断転載を禁じます）